

# 日本遺産御嶽昇仙峡歌溪谷 歌碑設置箇所位置図

## 遊歩道沿い歌碑

主催：昇仙峡地域活性化推進協議会  
選者：山梨県歌人協会 会長 三枝浩樹

### ④与謝野晶子 昭和8年来訪『いぬあじさる』

#### ゆるやかに 末は銀糸の なみとなる 第一橋の 川下のみづ

(解説)

昇仙峡の第一橋(長潭橋)あたりの澄んで淀んでいる水が、ゆるやかに流れて川下では銀糸のようにきらめく波となっているさまが見える。

### ⑤若山牧水 『別離』明治43年

#### 霧ふるや 細目にあけし 障子より ほの白き秋の 世の見ゆるかな

(解説)

霧が降っているのだろうか。少し開けた部屋の障子の隙間から霧立ち込めるほの白い秋の趣が感じられた。溪谷の眺めはこの霧の奥に隠されているのだろう。

### ⑥近藤芳美 平成4年秋来訪『甲斐路百首』

#### 昨夜一夜 荒れし名残の 霽れやらぬ 昇仙峡の 櫨もみじする

(解説)

昨晩ずっと荒れ模様だった天気はまだすっかり回復しないままの昇仙峡である。もう櫨の木紅葉が始まっていて美しい。

### ⑦佐佐木信綱 明治36年4月下旬来訪 游御嶽「甲信游草」歌集未収録

#### 青濤の 流音なき たそがれを 鵲鴿二つ 岩間飛びかふ

(解説)

溪流の青い波の流れを眺めていると、この澄んだ波の響き以外の音は聞こえてこない。そんな静かな黄昏どき、せきれいの番がせわしくなく溪流の岩間を飛び交っている。

### ⑧窪田空穂 大正9年5月来訪『朴の葉』

#### 天つ日は さして及ばず 岩垣淵 あをさ極まり 暗からむとす

(解説)

空には日が明るく照っているが、日差しは深い溪谷の底までは届かない。日陰となっている岩の群がっている淵の水は青くどこまでも澄んで、暗く見える程である。

### ⑨与謝野 寛 昭和8年来訪『与謝野寛遺稿歌集』

#### 路高し 雑木を隔て 下に見ゆ 御嶽の溪の 羅漢寺の橋

(解説)

ここの路が高いので雑木越しに望める御嶽の溪谷にかかっている羅漢寺橋は下の方に見えることだ。

## 昇仙峡短歌コンテスト受賞作品

主催：昇仙峡観光協会  
選者：山梨県歌人協会 会長 三枝浩樹

### ① 岐阜県郡上市 石田賢吾さん

「すごいよね 自然の力」と 石門を 行きつ戻りつする 子らのあり

### ② 山形県山形市 熊谷和佳さん

ちはやふる 滝の水沫の 清きこと 神の磨ける 水晶ならむ

### ③ 山梨県都留市 山本菜さん

幼き日 父母と眺めし 仙娥滝を 夫となりたる 人と訪ふ

